

証券コード：6258

第67期第2四半期 Hirata Report

平成29年4月1日～平成29年9月30日

Hirata

The Global Production Engineering Company

平田機工株式会社

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第67期第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)の事業概況を以下のとおり、ご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済情勢は、米国では、労働市場の回復から個人消費の持ち直しや設備投資の増加など、実態経済の回復が持続しております。欧州では、企業業績の改善や堅調な個人消費など、全体として景気は緩やかに持ち直しております。また、中国では住宅市場の調整やインフラ投資の伸びの鈍化が見られますが、良好な雇用・所得環境を背景に、個人消費は引き続き景気を下支えすると見込まれております。一方、国内経済は、世界経済の景気の持ち直しから輸出の増加や、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加に加え、雇用・所得環境の改善が持続するなど、内外需要の底堅さから景気回復基調が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、事業拡大が期待できる市場や分野へ海外子会社との連携によりグローバルな営業活動に注力してまいりました。また、生産量の増大に対し、生産リソースの最適な配分による負荷調整を積極的に行い、内製化率の拡大を推進するとともに、仕入体制の見直しによるサプライチェーン全体のさらなる効率化を進めるなど生産体制の強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は473億50百万円(前年同期比50.3%増)となり、営業利益は58億7百万円(前年同期比76.7%増)、経常利益は56億16百万円(前年同期比89.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億66百万円(前年同期比108.4%増)となりました。



代表取締役社長

平田 雄一郎

通期業績の見込みについて

通期の連結売上高につきましては、下半期は、すでに受注している大型案件などに対応するため、高い生産状況が続く見込みであり、各事業部間のリソース活用による負荷調整および各案件の確実な利益確保に注力いたします。自動車関連では、トランスミッションなどのパワートレイン関連の生産設備の受注は堅調であり、低燃費エンジンや電気自動車(EV)などの大型引合案件のさらなる受注確保に向けて取り組んでまいります。半導体関連では、有機EL蒸着装置、

ウェーハ搬送装置とともに堅調に推移する見込みです。

また、当社は2017年6月15日に東京証券取引所市場第一部に市場変更いたしました。つきましては、株主の皆さまのご支援に報いるため、平成30年3月期の1株当たりの期末配当は、100円の普通配当に25円の記念配当を加え、合計125円を配当することといたしました。

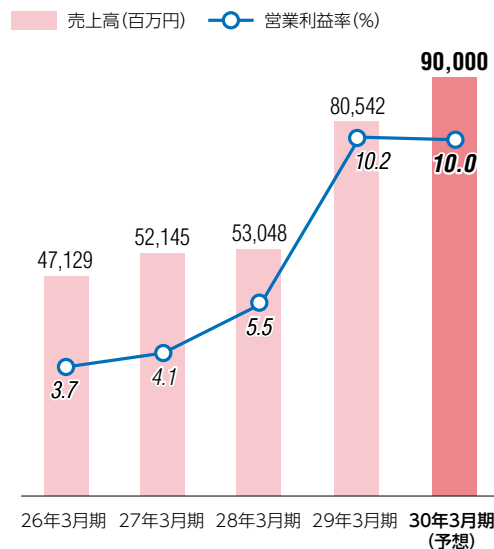
株主・投資家の皆さまにおかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■ 平成30年3月期 第2四半期累計実績と通期業績予想(連結)

項目	第2四半期 累計実績	通期業績予想
売上高	473億円	900億円
営業利益	58.0億円	90億円
経常利益	56.1億円	88億円
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	39.6億円	60億円
1株あたり四半期 (当期)純利益	391.29円	635.90円
1株あたり配当金	0.00円	125.00円 うち記念配当25.00円

※配当金につきましては、平成30年6月下旬に開催予定の定時株主総会において付議する予定です。

■ 連結売上高・営業利益率推移



東京証券取引所 第一部へ市場変更

2017年6月15日、当社は東京証券取引所JASDAQ市場から第一部へ市場を変更いたしました。これらひとえに、株主の皆さま、お取引先さまをはじめ、お力添えをいただいた多くの関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今後も皆さまのご期待にお応えできるよう、さらなるビジネスの拡大と企業価値の向上を図り、生産設備のシステム・インテグレーターとしてお客さまの願いを形にできる、また社会に貢献できる企業となるよう努めてまいります。



東京証券取引所でのセレモニーの様子

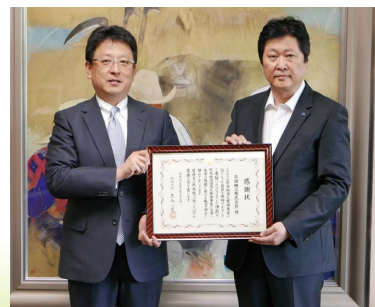
株主優待制度における寄付のご報告

2017年3月31日を基準日とする当社「株主優待制度」において、熊本城災害復旧支援金として3,000円の寄付をご選択いただいた株主様の人数および寄付金総額、ならびに株主数に10,000円を乗じた額を「復興城主」制度を通して熊本市に寄付した合計金額は、以下のとおりとなりました。

7月26日、社長の平田から熊本市の大西市長へ寄付金を贈呈しました。
ご協力を賜りました株主様には心より御礼申し上げます。

寄付金
詳細

1. 熊本城災害復旧支援金
寄付希望株主数……………619名、寄付金総額…………1,857,000円
 2. 熊本城復興城主寄付金
2017年3月31日現在株主数…3,829名、寄付金総額… 38,290,000円
- 合計40,147,000円



熊本市長 大西一史氏から感謝状を拝受

●中国子会社にてスカラ型ロボットの生産・販売を開始

現地対応により、コストダウンとリードタイム短縮を実現

当社の中国子会社である Hirata Automated Machinery (Shanghai) Co.,Ltd. (以下、HAS)において、7月からスカラ型ロボット「AR-F」の生産・販売を開始いたしました。

これまで本製品の中国販売は、日本で生産し、輸送しておりましたが、HASにおいても調達、品質検査、生産・販売などの全てが対応できるようになり、課題であったコストダウンとリードタイム短縮を実現することができました。

今後、中国市場の旺盛な需要に応えられるよう、既存販売ネットワークを活かした拡販・競争力の強化を図ってまいります。また、HASにて生産・販売できるロボットのバリエーションを拡充し、中国ロボット市場に対してより積極的に参入いたします。

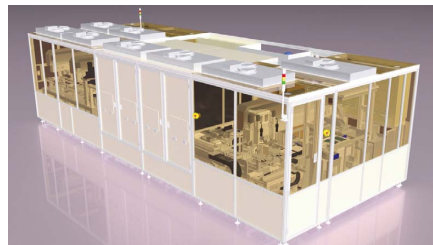


●新型レーザーパネル切断システムの開発・販売を開始

ベゼルレス・スマートフォンのニーズに対応

当社は、スマートフォンやタブレット用パネルの生産に使用する新型レーザーパネル切断システムの開発・販売を開始いたしました。

近年、スマートフォンのベゼルレス化*が急激に進み、スマートフォンの各社の外形デザインに合わせ、パネルのコーナー部分のCカットやRカット、カメラ部分の加工切断を量産できるシステムが必要になってきました。これまでは長方形のパネルを機械加工により研磨していましたが、当社にて超短パルスレーザーを用いて効率よく加工・切断できるシステムを開発。これからのスマートフォンデザインの加工・切断に対応できるシステムです。すでに中国の大手メーカーから複数台の受注を獲得しており、10月に納品いたしました。

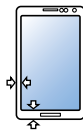


装置外観。大きさは、幅7m×奥行3m、高さ2m

※ベゼルレス化とは？

スマートフォンの外枠部分を可能な限り狭くすること。小型なスマートフォンでも画面を大きくすることができ、操作しやすい。

《これまでのスマートフォン》



ベゼル（本体の外枠部分）が広く、画面は小さい。画面のパネルの形状は長方形

《ベゼルレススマートフォン》



ベゼルがほとんどないので画面が大きい。本体外形に合わせてパネルも曲線加工されている。

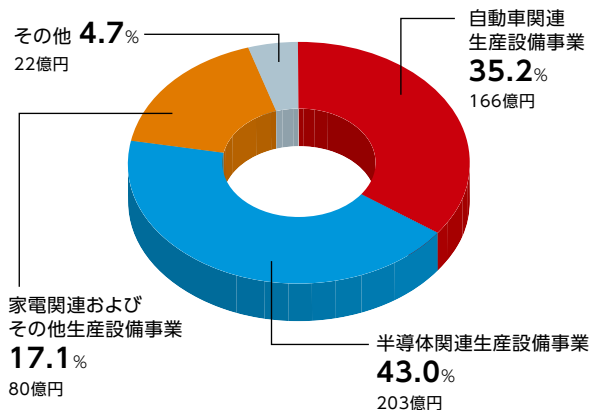
●熊本城マラソン2018のオフィシャルスポンサーへ

当社は、熊本城マラソン2018のオフィシャルスポンサーになりました。熊本市と共に熊本地震からの復興を後押しし、熊本城の再建や熊本の経済活性化を支援してまいります。

事業部門別概況

当期売上高内訳

(平成29年4月1日～平成29年9月30日)



売上高

473 億円

受注高

465 億円

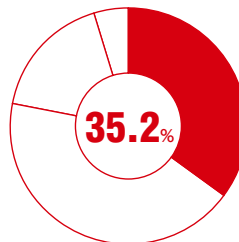
受注残高

447 億円

当第2四半期の売上高の事業部門別構成比は、自動車関連が166億円で全体の35.2%、半導体関連が203億円で43.0%、家電関連その他が80億円で17.1%となっております。自動車および半導体関連の増収により、第2四半期の売上高としては、過去最高額となる473億円となりました。

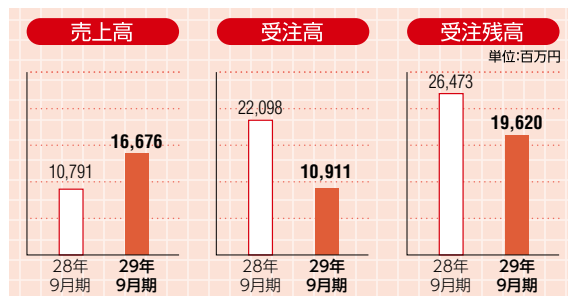
自動車関連生産設備事業

エンジン、トランスミッションなどの自動車の駆動系主要部品をはじめ、制御用電子機器、車載用電子部品などの組立設備の製造・販売



売上高 **166** 億円

対前年同期増減率 **+54.5%**



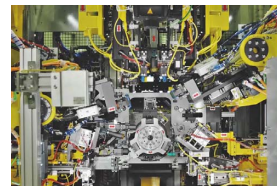
第67期第2四半期実績

自動車関連生産設備は、北米市場向けのパワートレイン関連や電気自動車(EV)関連、自動車部品関連設備が堅調に推移し、売上高は前年同期比54.5%増の166億76百万円となりました。

下期の売上高は173億円を予想しており、通期では340億円を計上する見込みです。



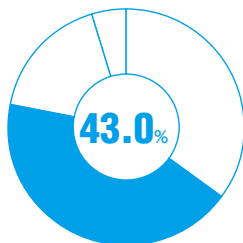
エンジン組立ライン



エンジンテスト機

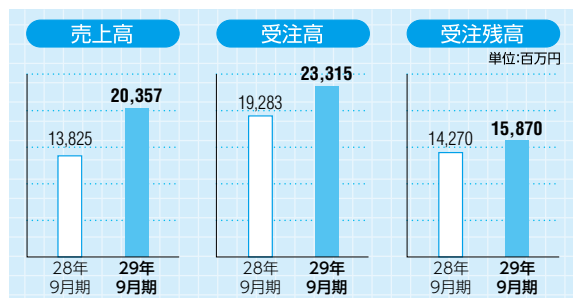
半導体関連生産設備事業

ロードポート、ウェーハ搬送ロボットなどの半導体関連生産設備、有機EL関連生産設備、FPD関連生産設備などの製造・販売



売上高 **203** 億円

対前年同期
増減率 **+47.2%**



第67期第2四半期実績

半導体関連生産設備は、ウェーハ搬送設備の売上高が堅調に推移したことに加え、有機EL関連の蒸着装置の売上高が増加した結果、売上高は前年同期比47.2%増の203億57百万円となりました。

下期の売上高は約136億円を予想しており、通期では340億円を計上する見込みです。



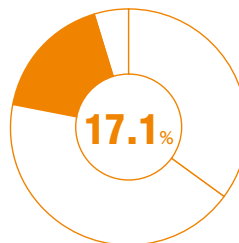
レーザーパネル切断装置



有機EL蒸着装置

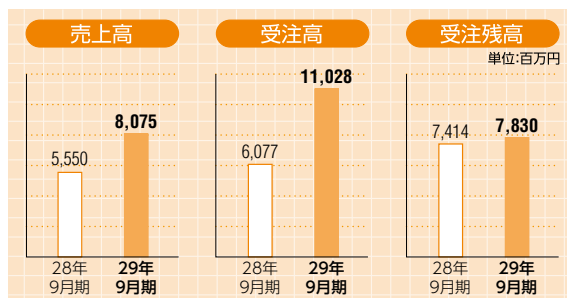
家電関連およびその他生産設備事業

家電関連分野では、テレビ、掃除機などの自動組立設備、その他生産設備分野では、タイヤ生産設備、自動倉庫システムなどを製造・販売



売上高 **80** 億円

対前年同期
増減率 **+45.5%**



第67期第2四半期実績

家電関連およびその他生産設備は、家電製品の先進国での買換え需要や新興国の経済発展による普及率の向上に伴い、白物家電を中心とした組立設備が堅調に推移し、売上高は前年同期比45.5%増の80億75百万円となりました。

下期の売上高は、99億円を予想しており、通期では180億円を計上する見込みです。



全自動連続薄切装置
ティッシュ・テックススマートセクション
(サクラファインテックジャパン株式会社)



家電部品組立ライン

連結財務諸表 (要約)

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結会計 期間 (28.9.30)	当第2四半期 連結会計 期間 (29.9.30)	前連結会計 年度 (29.3.31)
【資産の部】			
流動資産	54,904	79,792	67,466
現金及び預金 1	7,668	17,338	8,311
受取手形及び売掛金 } 2	33,043	38,081	37,428
電子記録債権 } 2	—	10,507	8,996
たな卸資産 3	10,813	10,666	8,461
繰延税金資産	1,580	1,698	1,820
その他	1,885	1,649	2,581
貸倒引当金	△ 87	△ 148	△ 133
固定資産	18,947	21,800	20,780
有形固定資産	15,511	16,375	16,248
建物及び構築物	3,682	4,431	4,166
土地	9,702	9,807	9,808
その他	2,126	2,136	2,273
無形固定資産	450	802	623
投資その他の資産	2,985	4,623	3,907
投資有価証券	2,408	2,887	2,562
破産更正債権等	42	38	38
退職給付に係る資産	56	1,202	790
繰延税金資産	3	13	13
その他	703	727	753
貸倒引当金	△ 228	△ 245	△ 251
資産合計	73,851	101,592	88,246

※前第2四半期連結会計期間の電子記録債権につきましては、受取手形及び売掛金に含んでおります。

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結会計 期間 (28.9.30)	当第2四半期 連結会計 期間 (29.9.30)	前連結会計 年度 (29.3.31)
【負債の部】			
流動負債	39,440	46,069	48,217
支払手形及び買掛金	13,946	8,089	9,384
電子記録債務	—	11,893	10,486
短期借入金 } 4	12,065	12,465	11,998
1年以内返済予定の長期借入金 } 4	5,334	3,260	4,397
前受金	3,607	4,251	4,651
その他	4,486	6,109	7,299
固定負債	11,771	11,683	12,457
長期借入金 4	8,944	8,414	9,406
その他	2,827	3,268	3,050
負債合計	51,212	57,752	60,674
【純資産の部】			
株主資本	18,419	38,491	22,515
資本金	2,633	2,633	2,633
資本剰余金	2,409	14,281	2,409
利益剰余金	14,529	21,647	18,625
自己株式	△ 1,153	△ 72	△ 1,153
その他の包括利益累計額	3,963	4,944	4,716
新株予約権	—	24	—
非支配株主持分	256	379	340
純資産合計	22,639	43,840	27,571
負債純資産合計	73,851	101,592	88,246

※前第2四半期連結会計期間の電子記録債務につきましては、支払手形及び買掛金に含んでおります。

ポイント

1 現金及び預金

現金及び預金は、公募による自己株式の処分により、前期末比90億26百万円の増加となりました。

2 受取手形及び売掛金、電子記録債権

受取手形及び売掛金、電子記録債権の売上債権は、売上高の増加により、前期末比21億64百万円の増加となりました。

3 たな卸資産

たな卸資産は、前年度からの高い水準の受注により生産高が増加し、前期末比22億4百万円の増加となりました。

4 有利子負債

有利子負債は、生産高の増加に伴い資金ニーズが高まったものの、自己株式の処分などにより、前期末比16億63百万円の減少となりました。

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計 年度
	(自 28.4.1 至 28.9.30)	(自 29.4.1 至 29.9.30)	(自 28.4.1 至 29.3.31)
売上高	31,503	47,350	80,542
売上原価	24,343	37,338	64,155
売上総利益	7,160	10,012	16,386
販売費及び一般管理費	3,873	4,204	8,139
営業利益	3,287	5,807	8,247
営業外収益	132	66	207
営業外費用	455	257	415
経常利益	2,964	5,616	8,039
特別利益	1	8	375
特別損失	5	1	14
税金等調整前四半期 (当期)純利益	2,960	5,623	8,400
法人税等	1,061	1,619	2,451
四半期(当期)純利益	1,899	4,004	5,949
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	△ 4	37	57
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,903	3,966	5,891

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計 年度
	(自 28.4.1 至 28.9.30)	(自 29.4.1 至 29.9.30)	(自 28.4.1 至 29.3.31)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 7,748	△ 361	△ 5,862
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 639	△ 2,765	△ 1,445
財務活動による キャッシュ・フロー	8,828	10,265	8,152
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△ 403	△ 110	△ 164
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	37	7,026	679
現金及び現金同等物 の期首残高	7,631	8,311	7,631
現金及び現金同等物 の四半期末(期末)残高	7,668	15,338	8,311

ポイント

5 売上高

半導体関連が有機EL蒸着装置を中心に増加、自動車関連も北米市場向けのパワートレイン設備に加え、電気自動車(EV)メーカーへの売上などが増加し、第2四半期の売上高としては過去最高額となる前年同期比50.3%増の473億50百万円となりました。

6 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

売上高の増加により、営業利益は前年同期比76.7%増の58億7百万円となりました。経常利益は、前年同期比89.5%増の56億16百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比108.4%増の39億66百万円となりました。

7 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益56億23百万円に対し、売上債権の増加25億57百万円、たな卸資産の増加21億95百万円、法人税等の支払額22億67百万円などにより、3億61百万円の支出となりました。

8 投資活動によるキャッシュ・フロー

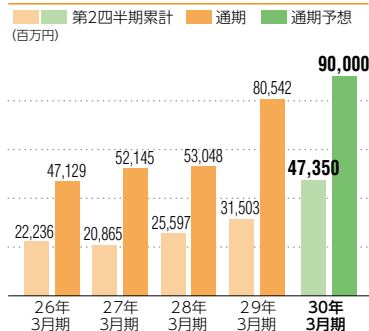
投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出4億79百万円、無形固定資産の取得による支出3億円、定期預金の預入による支出20億円などにより、27億65百万円の支出となりました。

9 財務活動によるキャッシュ・フロー

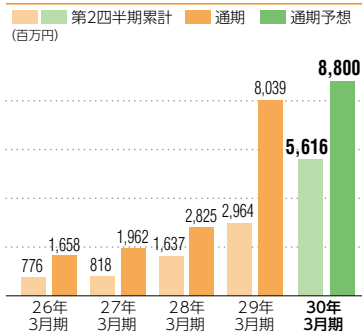
財務活動による資金は、長期借入金の返済による支出26億30百万円、自己株式の売却による収入129億53百万円などにより、102億65百万円の収入となりました。

財務ハイライト

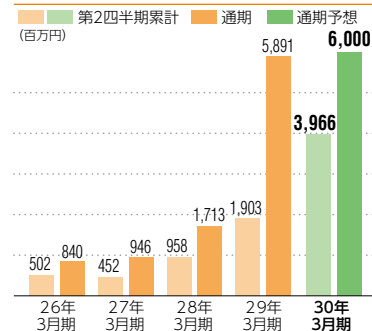
● 売上高



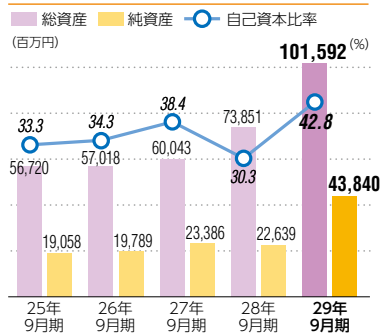
● 経常利益



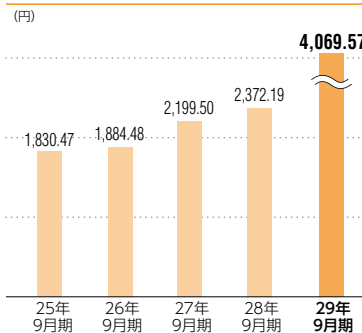
● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



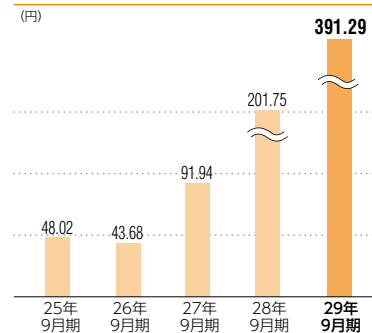
● 総資産／純資産



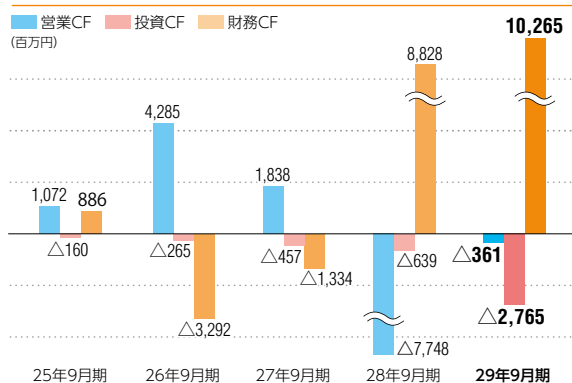
● 1株当たり純資産額



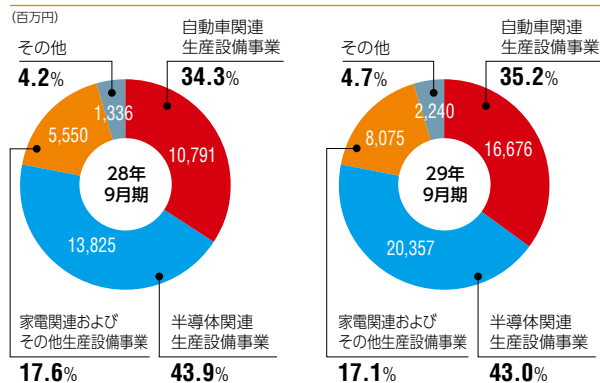
● 1株当たり四半期純利益



● キャッシュ・フロー



● 事業別売上高および比率



会社概要および株式の状況

会社概要 (平成29年9月30日現在)

会社名	平田機工株式会社
会社設立	1951年12月29日
資本金	2,633百万円
従業員数	2,223名
業務内容	各種生産システム、産業用ロボットおよび物流関連機器等の製造ならびに販売
本社所在地	熊本県熊本市北区植木町一木111番地

役員	代表取締役社長	平田 雄一郎
	代表取締役副社長執行役員	橘 勝義
	取締役執行役員	田中 敏治
	取締役執行役員	安高 純一郎
	取締役執行役員	藤原 五男
	取締役執行役員	平賀 靖英
	取締役執行役員	本郷 仁基
	取締役執行役員	黒田 健治
	取締役執行役員	市原 雄一
	取締役執行役員	平田 正治郎
	社外取締役	雀部 博之
	社外取締役	鳴沢 隆
	常勤監査役	元田 直邦
	監査役	村田 邦夫
	監査役	鳥巢 宣明
	監査役	今村 憲
	執行役員	河本 行広
	執行役員	印南 静男
	執行役員	藤本 靖博
	執行役員	兼子 利憲
	執行役員	大久保 洋
	執行役員	谷口 敬隆

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

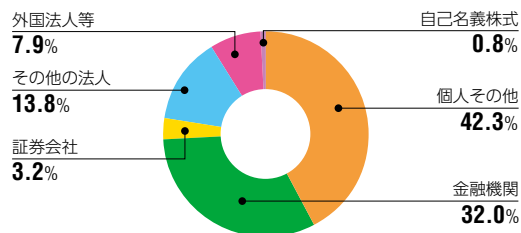
発行可能株式総数	37,000,000株
発行済株式総数	10,756,090株
株主数	8,491名

大株主の状況

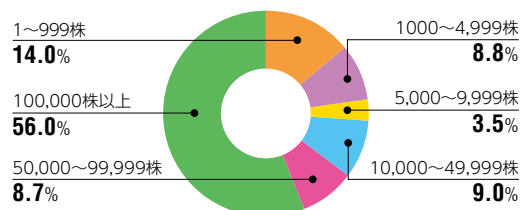
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
SMC株式会社	500,000	4.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	487,400	4.57
株式会社肥後銀行	456,000	4.27
みずほ信託銀行株式会社有価証券管理信託0700053	400,000	3.75
平田機工社員持株会	356,110	3.34
平田 雄一郎	291,500	2.73
ニッコンホールディングス株式会社	272,400	2.55
有限会社コンパス	224,000	2.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	213,000	2.00
平田 宏之	194,772	1.82

当社が保有している自己株式は82,774株です。
持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株主メモおよび株主優待制度

株主メモ(株主のご案内)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主確定基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 ※期末配当のみとさせていただきます。	同事務取扱場所	〈郵便物送付先〉 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〈電話照会先〉 0120-782-031(フリーダイヤル)
定時株主総会	毎年6月開催	公告方法	当社のホームページに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告します。
単元株式数	100株		
証券コード	6258		
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部		

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

株主優待制度

【対象株主】 毎年、3月31日現在の当社株主名簿に記録された当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様

【優待内容】

1. 寄付もしくはクオ・カード

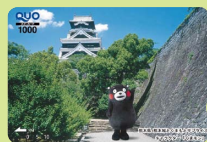
以下①②のいずれかを選択していただけます。

①熊本城災害復旧支援金として熊本市に3,000円を寄付

※名義は「平田機工株式会社(株主寄付口)」となります。

②熊本城災害復旧支援金(6円)付きクオ・カード3,000円分

※3,000円分全額使用できます。



©2010 熊本県くまモン®K1761

2. 熊本城復興城主の特典付与

希望される株主様に「復興城主」として以下の特典が付与されます。

- ①城主証の交付
- ②城主手形の交付
- ③城主手形の提示により、指定の市内観光施設の入場料免除および協賛店割引等
- ④デジタル芳名板への氏名の掲示(城彩苑 湧々座2階に設置)
- ⑤復興城主限定ブックレットの贈呈(熊本城総合事務所または城彩苑 湧々座にてお渡し)

※特典の詳細につきましては、熊本城総合事務所(TEL:096-352-5900)までお問い合わせください。



©熊本城総合事務所

【贈呈時期】 毎年、定時株主総会の翌月下旬を予定

①クオ・カードご希望の株主様へ発送

②「復興城主」特典をご希望の株主様へ仮の城主手形を発送。正式な城主証、城主手形は2カ月ほど遅れて発送予定です。

平田機工株式会社

本 社

〒861-0198 熊本県熊本市北区植木町一木111番地
TEL.096-272-0555 FAX.096-272-7901

●IR情報に関するお問い合わせ先

平田機工株式会社
管理本部 経理部 IRグループ IR・広報課

TEL 096-272-5558

FAX 096-272-3618

E-mail hirata_info@hirata.co.jp